

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、研究倫理審査委員会の承認を得て、研究機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	寛骨臼形成不全における腰椎骨盤矢状面・水平面アライメントと仙腸関節障害の関連について
研究機関名	金沢医科大学病院
研究機関の長	病院長：川原 範夫
研究責任者	金沢医科大学病院 リハビリテーションセンター 東軒優介
研究参加拒否 申込受付期間	2024年9月30日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までをお願いいたします。
研究期間	研究実施許可日 ~ 2026年3月31日
対象者	2014年5月から2024年3月までに当院整形外科にて寛骨臼形成不全の診断がされ、低侵襲寛骨臼骨切り術を受けられた方。
当該研究の意義・目的	仙腸関節障害を合併している寛骨臼形成不全患者の腰椎骨盤矢状面・水平面アライメントを比較してどのような特徴があるのか検討します。 腰椎・骨盤アライメントがどのように仙腸関節障害に関連しているか明確にすることで疼痛増悪を未然に防ぐことができると考えています。
方法および研究で利用する 試料・情報の取得方法	本研究は、電子カルテから年齢、性別、BMI、腰椎・骨盤のレントゲン画像、腰椎・骨盤のCT画像の情報を収集し、得られたデータからレントゲン画像を解析します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。 研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。 この研究では試料の取扱いはありません。
利用又は提供する外部への 試料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧及び研究対象者 等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があり、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。

問合せ先	その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 リハビリテーションセンター 東軒優介 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511 内線（25291）
------	---

作成日： 2024年4月11日